

健康増進編

1 健康手帳の交付

市区町村における健康手帳交付数は1,088,976人で、男411,741人、女626,670人となっている(表1)。

表1 健康手帳の交付状況

平成23(2011)年度

(単位:人)

	総数	40~74歳	75歳以上
総数	1 088 976	940 344	135 665
男	411 741	356 205	55 536
女	626 670	548 885	77 785

注:年齢階級別及び性別の計数が不詳の市区町村があるため、総数と年齢階級別及び性別の計が一致しない。

2 健康診査

市区町村が実施した健康診査の受診者数は92,428人で、男42,968人、女49,460人となっている(表2)。

検査結果の状況を見ると、「糖尿病個別健康教育対象者(ア)」27,143人、「高血圧症個別健康教育対象者(イ)」25,836人となっている(表3)。

表2 性・年齢階級別にみた健康診査における受診者の状況

平成23(2011)年度

(単位:人)

	受診者数	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
総数	92 428	11 876	14 126	13 219	13 042	15 135	25 030
男	42 968	5 205	8 092	7 875	6 714	6 666	8 416
女	49 460	6 671	6 034	5 344	6 328	8 469	16 614

注:1 老人保健法に基づき市区町村が実施していた基本健康診査は、平成20年度より高齢者の医療の確保に関する法律に基づき保険者が実施する特定健康診査と、健康増進法に基づき市区町村が実施する健康診査に分かれた。本報告では市区町村が実施した健康診査について計上している。

2 健康診査の受診者数は、「健康診査」、「訪問健康診査」及び「介護家族訪問健康診査」の受診者数の合計である。

表3 性別にみた健康診査における検査結果の状況

平成23(2011)年度

	受診者数	検査結果								
		血圧		脂質異常		糖尿病		貧血 (疑いを含む。)	肝疾患 (疑いを含む。)	腎機能障害 (疑いを含む。)
		高血圧症 個別健康教育 対象者(ア)	高血圧症 個別健康教育 対象者(イ)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(ア)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(イ)	糖尿病 個別健康教育 対象者(ア)	糖尿病 個別健康教育 対象者(イ)			
総数(人)	92 428	11 202	25 836	19 445	24 313	27 143	10 456	11 234	14 929	10 354
受診者数に 占める割合(%)	100.0	12.1	28.0	21.0	26.3	29.4	11.3	12.2	16.2	11.2
男(人)	42 968	5 283	12 967	9 694	11 103	12 483	5 839	5 278	9 055	5 084
受診者数に 占める割合(%)	100.0	12.3	30.2	22.6	25.8	29.1	13.6	12.3	21.1	11.8
女(人)	49 460	5 919	12 869	9 751	13 210	14 660	4 617	5 956	5 874	5 270
受診者数に 占める割合(%)	100.0	12.0	26.0	19.7	26.7	29.6	9.3	12.0	11.9	10.7

注:「個別健康教育対象者(ア)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の発症予防等のため指導が必要な者で、平成23年度中に指導を開始した者をいい、「個別健康教育対象者(イ)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の重症化予防等のため個別健康教育による指導が有効であると医師が認めた者で平成23年度中に指導を開始した者をいう。

3 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診

市区町村が実施した歯周疾患検診の受診者数は 253,545 人、骨粗鬆症検診の受診者数は 277,489 人となっている。

受診者数に占める指導区分の割合をみると、「要精検者」は歯周疾患検診では 80.5 %、骨粗鬆症検診 13.8 %となっている。(表 4)

市区町村における平成 23 年度の検診実施率は、歯周疾患検診 55.2 %、骨粗鬆症検診 61.1 %となっている(表 5)。

表 4 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施状況

平成 23(2011)年度

(単位:人)

		受診者数 ¹⁾	指 導 区 分					
			要精検者	受診者数に占める割合(%)	要指導者	受診者数に占める割合(%)	異常認めず	受診者数に占める割合(%)
歯周疾患検診	総 数	253 545	204 101	80.5	22 372	8.8	25 683	10.1
	40 歳	70 471	55 630	78.9	6 680	9.5	7 752	11.0
	50 歳	48 095	38 908	80.9	4 161	8.7	4 751	9.9
	60 歳	59 239	48 110	81.2	5 183	8.7	5 655	9.5
	70 歳	75 740	61 453	81.1	6 348	8.4	7 525	9.9
骨粗鬆症検診 ²⁾	総 数	277 489	38 394	13.8	78 819	28.4	160 184	57.7
	40 歳	31 816	560	1.8	3 573	11.2	27 683	87.0
	45 歳	19 486	372	1.9	2 120	10.9	16 994	87.2
	50 歳	31 652	896	2.8	4 219	13.3	26 537	83.8
	55 歳	31 597	2 515	8.0	7 891	25.0	21 186	67.1
	60 歳	52 505	7 802	14.9	18 826	35.9	25 854	49.2
	65 歳	52 881	10 945	20.7	20 147	38.1	21 769	41.2
70 歳	57 552	15 304	26.6	22 043	38.3	20 161	35.0	

注：1) 指導区分の計数が不詳の市区町村があるため、受診者数と指導区分の計が一致しない。

2) 「骨粗鬆症検診」の対象者は女性である。

表 5 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施市区町村数及び検診実施率の年次推移

	歯周疾患検診					骨粗鬆症検診				
	平成19年度	20年度	21年度	22年度 ¹⁾	23年度	平成19年度	20年度	21年度	22年度 ¹⁾	23年度
	(2007)	('08)	('09)	('10)	('11)	(2007)	('08)	('09)	('10)	('11)
実施市区町村数	950	954	941	921	959	1 151	1 106	1 075	1 034	1 062
検診実施率(%) ²⁾	52.3	53.0	53.9	54.2	55.2	63.4	61.4	61.6	60.8	61.1
全国市区町村数	1 816	1 800	1 746	1 700	1 738	1 816	1 800	1 746	1 700	1 738

注：1) 平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

2) 検診実施率=(実施市区町村数/全国市区町村数)×100

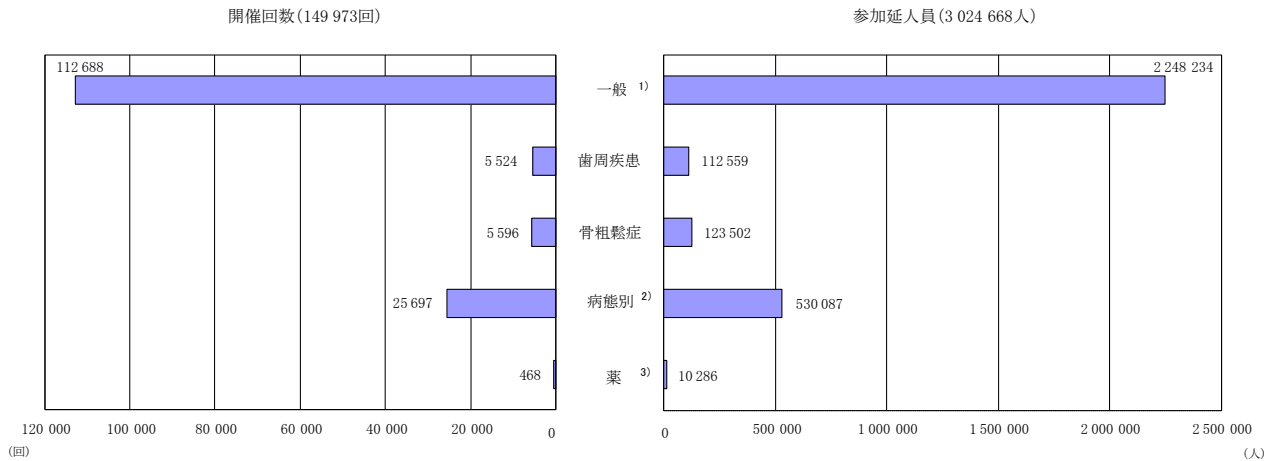
4 健康教育

市区町村が実施した集団健康教育の開催回数は149,973回、参加延人員は3,024,668人となっている。

内容別にみると、開催回数、参加延人員ともに、「一般」が最も多くなっている。(図1)

図1 集団健康教育の実施状況

平成23(2011)年度



注:1)「一般」とは、生活習慣病の予防のための日常生活上の心得、健康増進の方法、食生活の在り方等健康に必要な事項の教育をいう。

2)「病態別」とは、肥満、高血圧、心臓病等と個人の生活習慣との関係及び健康的な生活習慣の形成についての教育をいう。

3)「薬」とは、薬の保管、適正な服用方法等に関する留意事項、薬の作用・副作用の発現に関する知識の教育をいう。

5 健康相談

平成23年度に市区町村が実施した健康相談の被指導延人員は1,540,898人であり、そのうち重点健康相談は548,046人となっている。

重点健康相談を内容別にみると、「病態別」が174,324人と最も多くなっている。(表6)

表6 健康相談の年次推移

(単位:人)

		被指導延人員				
		平成19年度 (2007)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)	23年度 ('11)
総	数	2 563 583	1 693 691	1 658 638	1 537 679	1 540 898
重点 健康 相談	総	877 717	562 188	553 651	532 941	548 046
	高	123 623	94 872	88 236	85 446	100 251
	脂	57 934	27 901	25 458	24 377	24 386
	糖	58 944	35 455	30 305	30 705	34 451
	歯	135 678	91 236	83 792	84 146	81 681
	骨	125 904	103 918	107 085	104 002	108 438
	女	…	…	27 634	27 756	24 515
	病	375 634	208 806	191 141	176 509	174 324
総	1 685 866	1 131 503	1 104 987	1 004 738	992 852	

注:1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

2)「病態別」とは、重点健康相談の「高血圧」から「骨粗鬆症」を除く、肥満、心臓病等の病態別に、個人の食生活その他の生活習慣を勘案して行う相談指導等をいう。

6 機能訓練

平成 23 年度に市区町村が実施した機能訓練の実施状況は、実施施設数 369 ヶ所、被指導延人員 54,581 人となっている（表 7）。

表 7 機能訓練の年次推移

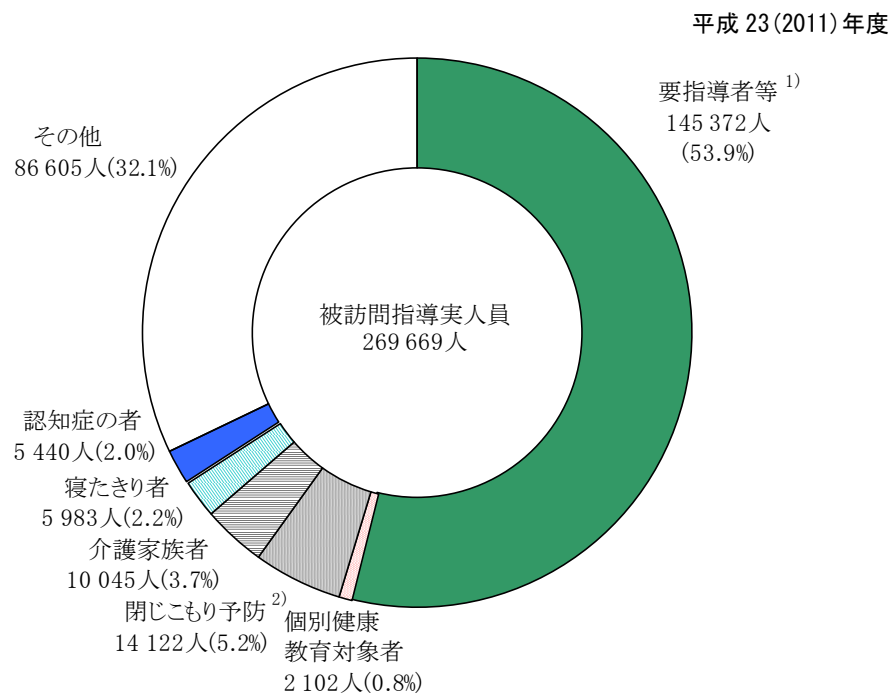
	平成19年度 (2007)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)	23年度 ('11)
実施施設数 (ヶ所)	957	580	511	459	369
実施回数 (回)	23 624	16 286	14 195	13 647	12 582
被指導実人員 (人)	9 090	5 002	4 695	4 431	3 755
被指導延人員 (人)	123 975	79 699	75 008	70 688	54 581

注:1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

7 訪問指導

市区町村が実施した訪問指導の被訪問指導実人員は 269,669 人となっており、訪問指導の対象者別にみると、「要指導者等」が 145,372 人（53.9 %）と最も多くなっている（図 2）。

図 2 訪問指導の対象者別にみた被訪問指導実人員



注:1)「要指導者等」とは、生活習慣病改善のための指導を行った者をいう。

2)「閉じこもり予防」とは、介護予防の観点から支援が必要な者で、健康管理上訪問指導が必要と認められた者をいう。

8 がん検診

(1) がん検診の受診者数及び受診率

平成23年度に市区町村が実施したがん検診の受診率は、「胃がん」9.2%、「肺がん」17.0%、「大腸がん」18.0%、「子宮がん」23.9%、「乳がん」18.3%となっている（表8、図3）。

表8 がん検診受診者数及び受診率の年次推移

(単位:人)

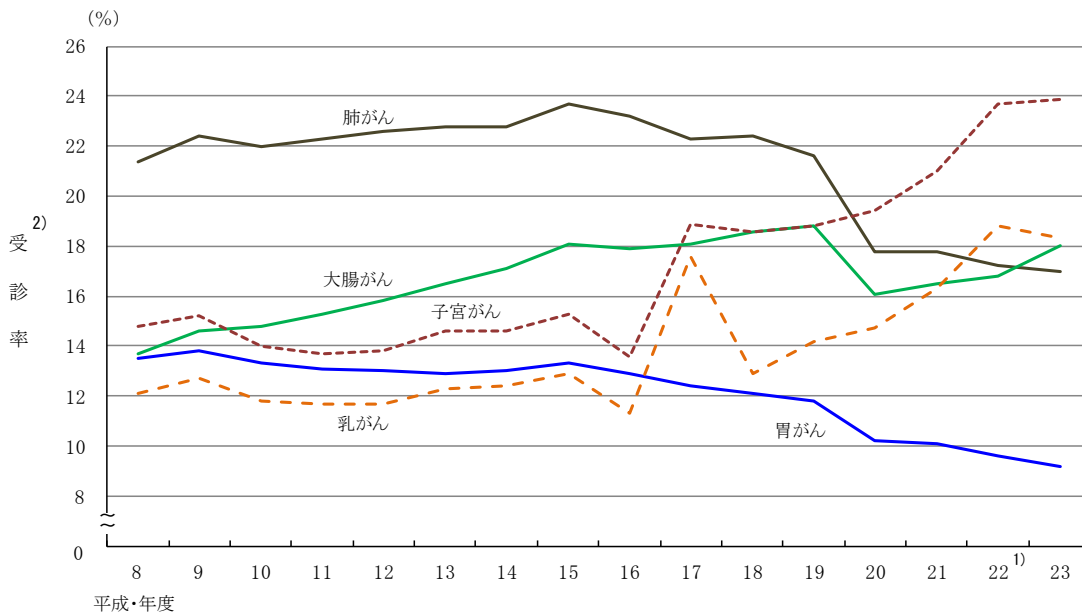
		平成19年度 (2007)	20年度 ('08)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)	23年度 ('11)
胃がん	受診者数	4 262 048	3 916 203	3 946 780	3 775 071	3 809 890
	受診率 (%) ²⁾	11.8	10.2	10.1	9.6	9.2
肺がん	受診者数	7 506 113	6 685 467	6 911 047	6 799 918	7 087 151
	受診率 (%) ²⁾	21.6	17.8	17.9	17.2	17.0
大腸がん	受診者数	7 176 312	6 418 334	6 693 859	6 761 698	7 649 103
	受診率 (%) ²⁾	18.8	16.1	16.5	16.8	18.0
子宮がん	受診者数	3 538 132	3 499 278	4 412 368	4 533 835	4 516 207
	受診率 (%) ²⁾	18.8	19.4	21.0	23.7	23.9
乳がん	受診者数	1 892 834	1 792 176	2 574 508	2 492 868	2 523 008
	受診率 (%) ²⁾	14.2	14.7	16.3	18.8	18.3

注:「受診者数」及び「受診率」については、24～26頁「IV 用語の解説」参照。

1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

2)受診率は、計数が不詳の市区町村を除いた値である。

図3 がん検診受診率の年次推移



注:「受診率」については、24～26頁「IV 用語の解説」参照。

1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

2)受診率は、計数が不詳の市区町村を除いた値である。

(2) がん検診受診率の分布状況

市区町村のがん検診受診率の分布をみると、がん検診受診率が「50%以上」と高い市区町村数は、「肺がん」が160（全国市区町村数に占める割合9.2%）と最も多く、次いで「子宮がん」が97（同5.6%）となっている。一方、がん検診受診率が「0～10%未満」と低い市区町村数は、「胃がん」が688（同39.6%）と最も多く、次いで「乳がん」が380（同21.9%）となっている。（表9、図4）

表9 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

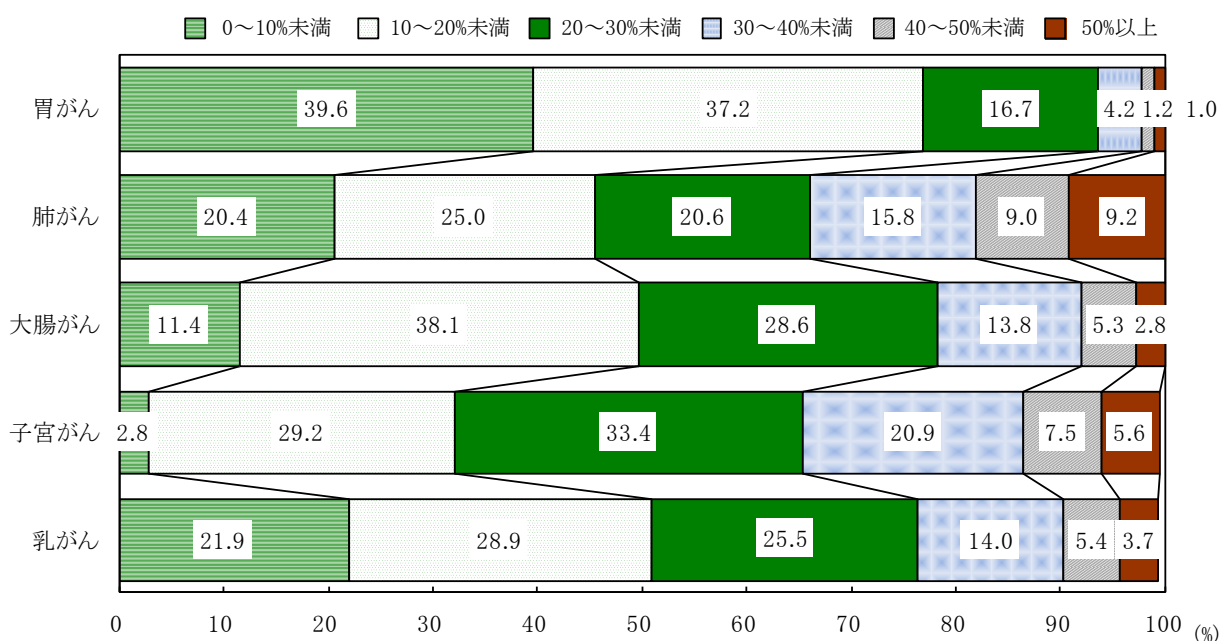
平成23(2011)年度

	全国 ¹⁾ 市区町村数	がん検診受診率別市区町村数					
		0～10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30～40%未満	40～50%未満	50%以上
胃がん	1 738	688	647	291	73	21	18
肺がん	1 738	355	434	358	275	156	160
大腸がん	1 738	199	662	497	240	92	48
子宮がん	1 738	48	508	580	364	130	97
乳がん	1 738	380	502	443	244	93	64

注：1)「全国市区町村数」はがん検診受診率が不詳を含む。

図4 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

平成23(2011)年度



注：総数にはがん検診受診率が不詳を含む。

(3) 平成 22 年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

平成 22 年度に市区町村が実施したがん検診における要精密検査者のうちがんであった者数の、がん検診受診者数に対する割合は、「胃がん」0.17%、「肺がん」0.06%、「大腸がん」0.23%、「子宮がん」0.08%、「乳がん」0.32%となっている(表 10)。

表 10 平成 22 年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況¹⁾

平成 22(2010)年度

(単位:人)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
がん検診受診者数 ¹⁾	3 874 128	7 059 318	6 975 281	4 666 826	2 541 993
要精密検査者数 ¹⁾	364 898	198 962	505 809	76 086	217 865
精密検査受診率 ²⁾ (%)	81.1	77.7	63.6	66.2	83.5
がん検診受診者数に対する割合 (%)	9.42	2.82	7.25	1.63	8.57
がんであった者数 ¹⁾	6 769	4 296	16 000	3 749	8 104
がん検診受診者数に対する割合 (%)	0.17	0.06	0.23	0.08	0.32
要精密検査者数に対する割合 (%)	1.86	2.16	3.16	4.93	3.72
精密検査未受診者数 ¹⁾	36 159	17 760	88 200	10 587	13 699
精密検査未受診率 ²⁾ (%)	9.9	8.9	17.4	13.9	6.3
精密検査未把握者数 ¹⁾	32 666	26 651	96 032	15 166	22 332
精密検査未把握率 ²⁾ (%)	9.0	13.4	19.0	19.9	10.3

注: 1) 平成23年度に精密検査を受診し、結果が判明した者についても含めている。

がん検診受診者数については平成22年度受診者を平成23年度報告で改めて把握したものであり、「表 8 がん検診受診者数及び受診率の年次推移」の平成22年度がん検診受診者数の数値とは異なる。

2) 「精密検査受診率」、「精密検査未受診率」及び「精密検査未把握率」については、24~26頁「IV 用語の解説」参照。「精密検査未受診者数」及び「精密検査未把握者数」の計数が不詳の市区町村を除いた値である。

9 肝炎ウイルス検診

市区町村が実施した肝炎ウイルス検診の受診者数は、「B型肝炎ウイルス検診」796,856人、「C型肝炎ウイルス検診」793,760人となっている。

B型肝炎ウイルス検診において「陽性」と判定された者は7,478人、C型肝炎ウイルス検診において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い」と判定された者は5,531人となっている。(表11)

肝炎ウイルスに関する健康教育の開催回数は954回、参加延人員は28,927人、健康相談の開催回数は1,796回、参加延人員は12,697人となっている(表12)。

表11 肝炎ウイルス検診の実施状況

平成23(2011)年度

(単位:人)

	B型肝炎ウイルス検診		C型肝炎ウイルス検診	
	受診者数	「陽性」と判定された者	受診者数	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い」と判定された者
総数	796 856	7 478	793 760	5 531
40歳	84 901	504	84 922	440
41～44歳	62 147	459	62 131	175
45～49歳	66 064	528	65 961	354
50～54歳	69 230	614	69 057	361
55～59歳	80 416	871	80 053	411
60～64歳	148 557	1 734	147 715	840
65～69歳	114 415	1 391	113 746	785
70歳以上	171 126	1 377	170 175	2 165

表12 肝炎ウイルスに関する健康教育・健康相談の実施状況

平成23(2011)年度

健康 教育		健康 相 談	
開催回数(回)	参加延人員(人)	開催回数(回)	参加延人員(人)
954	28 927	1 796	12 697